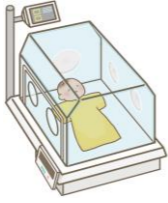













「光線療法を受ける赤ちゃんのご家族へ」

新生児黄疸（高ビリルビン血症）は、程度の差はありますが、全ての赤ちゃんに認められます。血液検査で黄疸の値が一定の基準を超えると核黄疸となり、神経障害を残す可能性があるため、そうなる前に治療が必要になります。黄疸が安全な値に下がるまで入院治療が必要です。

【新生児科】患者名： _____ 様

説明年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

経過	入院	光線療法中	光線療法後～退院まで
治療・処置	<ul style="list-style-type: none"> 全身に光を当てる治療を行います 	<ul style="list-style-type: none"> 採血をして、ビリルビンの値が下がっていたら光線療法を中止します 	<ul style="list-style-type: none"> ビリルビンの値が上がっていなければ、洋服を着て保育器から出ます 
検査	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には1日2回 黄疸検査をします 赤ちゃんの状態に合わせて採血をします 	<ul style="list-style-type: none"> 採血があります（ビリルビンの値が低下しているか調べます） 	<ul style="list-style-type: none"> 採血があります（再びビリルビンの値の上昇が無いか調べます）
栄養	<ul style="list-style-type: none"> 保育器の中で哺乳を行い、1日8回で3時間おき 又は、赤ちゃんが欲しがった時に授乳します（授乳時間：1時・4時・7時・10時・13時・16時・19時・22時） 	<ul style="list-style-type: none"> 光線療法が1面になったら、おっぱいを直接飲めるようになります 	
育児	<ul style="list-style-type: none"> 光線療法中も面会時は、赤ちゃんの状態が安定していたら抱っこ、おむつ交換、授乳、清潔ケアができます 		 
	<ul style="list-style-type: none"> 抱っこ・おむつ交換・授乳から覚えていき まずは見学から実施して頂き、慣れるまで看護師が付き添います 	<ul style="list-style-type: none"> ★面会中、赤ちゃんのリズムに合わせて抱っこ・お風呂・授乳をお父さん・お母さんが主体で行います 	
	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定と、赤ちゃんのからだを拭いたり、お風呂に入ったりします 		
説明	<ul style="list-style-type: none"> 入院時、医師から病状説明があります 看護師から入院時の説明があります 	<ul style="list-style-type: none"> 採血の結果をお知らせします 	<ul style="list-style-type: none"> 採血の結果と退院の目安をお知らせします 医師から退院の説明があります 看護師から退院当日の持ち物や流れ、会計について説明します
	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が授乳方法やおむつ交換の方法について説明します 光線療法中の面会（授乳も含め）は、治療を優先する為、30分になります（1日2回まで面会できます）  	<ul style="list-style-type: none"> 育児指導（直母や沐浴など）を行います <p>＜退院後の赤ちゃんの観察ポイント＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気がなくおっぱいを飲まない 38度前後の熱が続く 黄疸が強くなってきた（皮膚がオレンジ色に見える） 便が白っぽくなる <p>このような症状があれば、まずは電話でご相談ください</p> 	

*病名や入院期間については、現時点で予測されるものであり、今後検査結果で変わっていく可能性があることをご了承ください
ご不明な点がありましたら、遠慮なくスタッフへおたずねください。